

Lasius alienus

(Foerster, 1850)

暖かく乾いた草地や石灰岩質の土地にすむ、小型で臆病な茶色のLasiusで、Lasius nigerと間違えやすい種です。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度
21–25 °C
巣の中



巣の湿度
50–60 %
巣の中



休眠
5–8 °C
10月–3月



結婚飛行
7月–9月



働きアリ
2–4 mm
どれも同じ大きさ



女王
7–9 mm
女王は1匹



コロニーの規模
働きアリ5,000匹規模
成長速度：普通



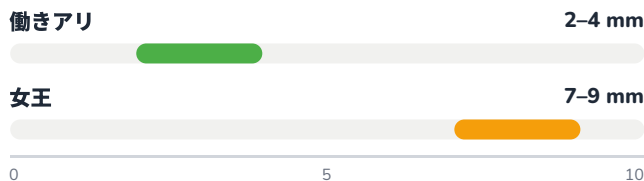
脱走リスク
中程度
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

1. サンドイッチ型の巣
2. Ytongの巣
3. アクリル製の巣

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- ⚠ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です

飼育者からのメモ

ヒント

飼いはLasius nigerとよく似ています。完全閉鎖型の女王アリは最初の働きアリが羽化するまで餌が不要で、その後は砂糖水かほちみつと、ショウジョウバエのような小さな昆虫を与えましょう。ドイツのある飼育報告では、働きアリは小さな獲物を進んで巣に運びましたが、最初の数週間を過ぎるとはちみつにはときどき来るだけでした。

注意

同定を確認してから、それを前提に計画を立てましょう。創設期の女王アリはLasius nigerと間違えやすく、経験豊富なフォーラム参加者は、このアリは写真では種名を決められないと言っています。通常の大きさの働きアリが出てくるまで待ち、倍率の高いルーペで複数の個体を観察しましょう。ごく小さい最初の働きアリは毛が少ないためです。それまでは、コロニーをLasius cf. alienusと呼んでください。